



独立行政法人福祉医療機構

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

Press Release NO. 48

令和8年2月10日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐野 伸
経営サポートセンター コンサルティンググループ
グループリーダー 三鼓 慎二郎
担当 川上 (電話) 03-3438-0236
(FAX) 03-3438-0371

2024年度(令和6年度)決算 障害福祉サービス《居住系サービス》の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2024年度(令和6年度)決算に基づく障害福祉サービス《居住系サービス》の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

＜経営分析参考指標＞ <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-index/>

1. 調査の概要

■調査時点	毎年1回(決算データ)		
■集計施設	共同生活援助	2,435	施設
	(介護サービス包括型)	2,129	施設
	(日中サービス支援型)	154	施設
	(外部サービス利用型)	152	施設
	居住複合型(施設入所支援・短期入所・生活介護)	464	拠点
■調査目的	機構融資先の債権管理の一環		

※経営分析参考指標(2024年度決算分)(有料)の頒布については、現在予約申込受付中です。

2. 2024年度決算の概要

＜共同生活援助＞

- 利用率は 86.1%で、前年度より 0.5 ポイント上昇した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は 10,558 円で、前年度より 416 円上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は 3.6%で、前年度より 0.2 ポイント低下した。

＜居住複合型(施設入所支援・短期入所・生活介護)＞

- 施設入所支援の利用率は 93.2%で、前年度より 0.5 ポイント低下した。
- 短期入所の利用率は 39.5%で、前年度より 0.5 ポイント低下した。
- 生活介護の利用率は 87.0%で、前年度より 0.8 ポイント低下した。
- 居住複合型全体の利用者1人1日当たりサービス活動収益は 10,710 円で、前年度より 629 円上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は 11.3%で、前年度より 3.2 ポイント上昇した。

以上